

北海道立市民活動促進センターは、営利を目的としない、地域の様々な課題を自ら解決しようとする道内の市民活動を応援しています。

特集

道内の市民活動支援センターを紹介します。 「めむろ町民活動支援センター・まちのひろば」

北海道内にある市民活動の支援施設を順次紹介します。今回は芽室町で市民活動を支援している「めむろ町民活動支援センター」について、ご紹介します。



めむろまちの駅

【めむろ町民活動支援センター・まちのひろば】

『芽室町役場からの声』

(芽室町役場企画財政課企画調整係・平手結花さん)

めむろ町民活動支援センターは、町民活動の活性化を目指し、町民の自主的活動を支援する施設です。

開設にあたっては、住民活動が多彩な広がりを見せる一方、単一団体では解決しきれない問題や資金面などに苦慮する団体が増加していたことから、町民活動団体による拠点施設の必要性や機能についての話し合いが行われました。その中で、町民活動支援拠点として①情報収集・発信②交流連携③活動支援④人材育成の4つの機能を備えた施設の設置が必要であるとの結論に達し、平成17年4月28日にオープンしました。

町民活動団体に対する先進的活動情報の提供や、新たな活動団体設立に向けた支援、各種団体相互の交流・情報交換の場づくり、町民活動を行おうとしている人たちに対するサポートなどが望まれており、そのための新たな仕組みづくりが課題となっています。

『運営団体からの声』

(NPO法人めむの杜理事長・小寺卓矢さん)

昨年4月に弊法人が芽室町から当センターの運営を託されたのと同時に、駅前プラザ内に新設された地域交流施設「めむろまちの駅」の一員としてセンター運営を行うことになりました。

まちの駅には情報展示設備などの他、厨房やカフェ、休憩処も併設されていますので、ひとと情報の交流促進や、農業王国・芽室の「食」を活かした参加型取り組みの可能性がぐんと広がり、町民活動支援の「切り口」が格段に増えました。

この町では、福祉や子育て、文化・スポーツ・趣味サークルに至るまで、数多くの団体が活発に活動しています。

活動する皆さんが生き活きと輝くことは、それ自体がすでに何ものにも替え難い「宝」ですが、私たちは、民間NPOならではの柔軟さを発揮しつつ、「地域に開かれた場」としての利点を十分に活かし、市民どうしが互いに知り合い・支え合い・高め合い、一層豊かな輝きを発揮できるような場をこの地域に育ててゆきたいと思っています。



館内「休憩スペース」では幅広い世代の利用があります

「めむろ町民活動支援センター・まちのひろば」

『職員からの声』

(めむろまちの駅職員・西村有里さん)

めむろ町民活動支援センターは、町の中心部に位置しコミュニティバスの停留所もあり便利な立地です。そのため、小学生から年配の方まで幅広い世代の方たちが気軽に立ち寄ることができる場です。

現在、センターに登録している団体は48団体。その取り組みの一つをここでご紹介します。高齢者の方の共食の場、学びの場を提供する活動を続ける「サロンひだまりの会」。月2回、まちの駅内の会議室にて集まりを開催、80代の高齢者15名程が参加しています。午前中は、ボランティアの講師を招きインターネット体験、朗読会、昔遊び体験など毎回趣向を凝らしたプログラムを楽しみます。まちの駅内に併設されている調理室で会員自ら作った手作りのお昼ごはんを皆さんと一緒に食べます。いつも笑い



サロンひだまりの会 「インターネット体験」

声が絶えないこちらの会、参加している高齢者の方達は「ここに来ると元気になるんですよ」と口々に笑顔で話してくれます。

センター主催のイベント「めむろ町民活動支援センターまつり」を今年2月に開催。「ひとが輝けば、地域が輝く」と題し、道南・今金町からゲストを迎え、町のユニークな取り組みを紹介。芽室西中学校図書委員会の生徒による発表では自主的に楽しみながら活動に取り組んでいる姿に会場からは温かな拍手が送られました。また、センター登録団体3団体による活動発表からは自然観察員の後継者不足、自力で外出が難しい高齢者へのケアなど地域の課題が見えてきました。その他、普段の団体活動の一端がみえるステージ発表など、お互いの活動を知るよい機会となりました。

今後は、道内の各中間支援センターと情報交換をさせていただきながら、地域の活動や交流の促進、相談業務を充実させていきたいです。

若い人たちやこれから活動を始めたい市民にも目を向け積極的に情報発信することで、世代間の溝を埋めお互いを理解し、

町の課題に共に取り組めるような信頼関係を築くお手伝いをしていけるセンターでありたいと思います。



センターまつり「ババによるエブロンシアター」

『センター利用者からの声』

(センター登録団体・嶋野奈津美さん)

まちの駅には、何にお世話になっているかな、と考えたときに、どうもはっきり答えが出てきません。つまり私にとって、何も用事が無くても、なんとなく足を運んでしまう場所になっているのです。印刷、助成金などで利用しているのは確かですが、それだけでない魅力があるようです。

まちの駅に行くとき展示物やチラシなどで、町内の方がどんな活動をしているのかを知ることが出来ます。その活動は、編み物や写真などの素敵な老後の楽しみであったり、子育て支援やお年寄り支援などの、人のため町のための活動であったりします。

そんな活動家の存在を知るだけでも、「自分も何かやりたいな、自分に何が出来るかな」と不思議とパワーが湧いてくるのです。

町内にはまだまだ知られていない素晴らしい魅力の持ち主が沢山いらっしゃると思います。これからも発掘作業を続けていただき「芽室町って素晴らしい町だな！」と思わせてくれる場所になっていただきたいと思います。

めむろ町民活動支援センター・まちのひろば

住所：〒082-0030

河西郡芽室町本通1丁目19番地

めむろ一ど1階 めむろまちの駅内

電話：0155-62-0413

FAX：0143-62-0414

開館時間：10:00~17:30(平日)

10:00~16:00(土日祝)

休館日：年末年始

<http://memuro-katsudou-center.memunomori.net/>

katsudou.center@cotton.ocn.ne.jp

◆道立市民活動促進センター主催の講座を一部紹介します◆

◆ 公募企画講座 ◆

「今日から使える「傾聴技法」の基礎講座」

3月12日（火）、「傾聴ボランティア・アクティブ17」と共催で、傾聴技法を学ぶ講座を開催しました。

「NPO 法人北海道総合福祉研究センター」代表の五十嵐教行さんから、傾聴の意義や傾聴する時の姿勢、態度、傾聴することの大切さ等の技法について学びました。

参加者の感想として、「これから、相手の話を聞きたいという姿勢、自分の癖の気づきを継続し、傾聴術を高めたいと思います」「これからの生活に役立てようと思います」などがありました。

「コミュニティ・レストラン北海道フォーラム」

～楽しく働き、おいしく食べるコミレスづくり～

3月16日（土）、「コミレスネットワーク北海道」と共催で、コミュニティ・レストラン（コミレス）の運営等に関するフォーラムを開催しました。

代表の伊藤規久さんと副代表の工藤洋文さんから、コミレスの概念や機能、運営形態等の現状と課題について報告がありました。

また、道内のコミレスの実践事例の紹介し、参加者からは人材や資金、協働などの質問が出され、それをテーマにディスカッションが行われました。

参加者の感想として、「実践的な話が聞けて良かった」「それぞれがネットワークを強めることで地域課題に役立てれば最高です」「コミレス運営の課題など、他の関係者と一致するところがあり、解決方法や捉え方などについて参考となった」などがありました。



「NPO法人決算相談会」

3月21日（木）、税理士の佐藤はるみさんと瀧谷和隆さんから税務や決算処理など、個別にアドバイスを受ける「決算相談会」を開催しました。

参加者からは「大変親切に教えて頂きました、今後の問題解決についても情報を頂きました」「設立後最初の決算を迎えたので、不明な点を直接相談・回答頂き、大変助かりました」などの感想がありました。

◆ 助成金情報 ◆

●公益財団法人キリン福祉財団●

平成 25 年度

「キリン・子ども「力」(ちから) 応援事業」

■助成対象活動

子どもたち自らの力を引き出すことを目的に、子どもの発想から生まれ、子どもが主体となって実施する活動

■助成対象団体

18歳以下のメンバーが中心となって活動する4人以上のグループ

■助成金額

1件(1団体)あたりの上限額 15万円

「キリン・シルバー「力」(ちから) 応援事業」

■助成対象活動

高齢者が、地域のために、その知識・技術・経験を活用するグループによるボランティア活動

■助成対象団体

65歳以上のメンバーが中心となって活動する4人以上のグループ

■助成金額

1件(1団体)当りの上限額 30万円

※「キリン・子ども『力』(ちから) 応援事業」と合算で総額 1700万円

■応募期限：2013年4月30日(火)

■応募先：公益財団法人キリン福祉財団

TEL：03-5540-3522

FAX：03-5540-3525

※ 詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

<http://www.kirin.co.jp/foundation/>

●社団法人生命保険協会●

平成 25 年度

「子育て家庭支援団体に対する助成活動」

少子化が大きな社会問題となるとともに、子育てに対する親の不安感が大きくなっていることから、平成 17 年度より、就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)を対象とした支援活動に取り組んでいる民間非営利の団体・グループ等に対し資金の助成を行っております。

■助成対象団体

就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動を行う民間非営利の団体、ボランティアグループ、NPO法人等で、所定の要件(申請時点で1年以上の活動実績を有し継続して運営している等)を満たす団体

■助成対象活動

日本国内における就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動(従来からの継続活動でも新規活動でも構いません)

■助成金額

1団体当たり上限額 25万円

(助成金総額最大 1400万円)

■応募期限：2013年4月30日(火)

■応募先：社団法人生命保険協会(札幌・苫小牧事務室)

TEL：011-222-1388

FAX：011-222-1389

※ 詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

<http://www.seiho.or.jp/>

センターインフォメーション

NPO法人の皆様へ

事業報告書等の提出をお忘れなく！

NPO法人は、情報公開のため、毎年1回、前事業年度の事業報告書等を所轄庁に提出しなければなりません(特定非営利活動促進法第29条)。

事業年度が3月末までとしているNPO法人も多いと思います。その場合、事業年度終了後3ヶ月以内つまり6月末までに事業報告書等を提出しなければなりません。忘れないよう計画しましょう。

詳しくは、次のホームページをご参照ください。

◎ 北海道庁(北海道のNPO・協働)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/npo-kyoudou.htm>

当センターでは、市民活動に関する
疑問・質問に相談員がお答えしています。

「NPOって何ですか?」「ボランティア募集の情報を知りたい」「助成金に関する情報を得るにはどうしたらいいの?」「市民活動団体の運営についてアドバイスを受けたい」「現在の活動団体をNPO法人化したい」など、市民活動に関わる相談にお答えします。

来館または電話、FAX、メールなどで、お気軽にご相談下さい。

・TEL：011-261-4440

・FAX：011-251-6789

・E-mail：center@do-shiminkatsudo.jp

今回の掲載情報以外の助成金情報や北海道庁からの役立つ情報なども随時更新中です。ぜひアクセスして下さい。

◎ 北海道立市民活動促進センターのホームページ

<http://www.do-shiminkatsudo.jp/>